

2月2日

2021年
(令和3年)
火曜日
第19738号(日刊)
土、日曜・祝日は休刊

鉄鋼新聞

Japan Metal Daily

発行所 株式会社 鉄鋼新聞社
本社 東京都千代田区神田神保町1-101
神保町101ビル
編集局 ☎03(5259)5203 FAX03(5259)5209
業務部 ☎03(5259)5202 FAX03(5259)5208
大阪支社 ☎06(6445)6935 FAX06(6445)6938
名古屋支社 ☎052(735)6556 FAX052(735)6557
http://www.japanmetaldaily.com
Eメール: info@japanmetaldaily.com



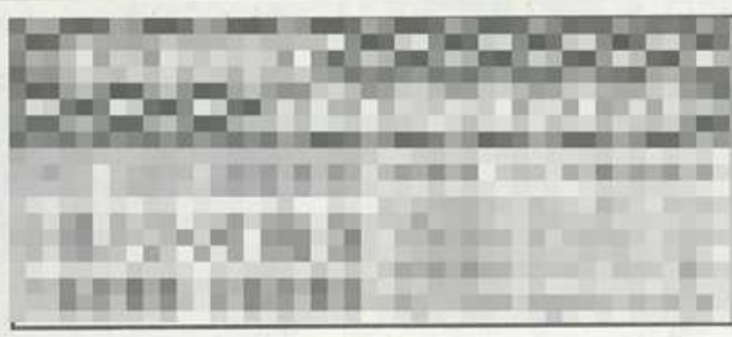
20年度プレスコラム掲載

大企業件数20万超へ

大企業件数20万超へ

21年度も同水準に

須賀川、長沼(いずれも福島県)、蓼科(長野県)にCC拠点を持ち、自販および受託・賃加工を合わせて通常時の加工・販売量は年間約20万ト。自動車関連や電機・OAなど幅広い需要分野を対象と



根津鋼材が継承

「受託・賃加工」を踏襲

独立系有力コイルセンター(CCC)の根津鋼材(本社・東京都荒川区、社長・根津訓光氏)は、豊田通商系の関東コイルセンター(KCC、東京都青梅市)の事業を継承する。KCCの親会社である豊通鉄鋼販売との間で基本合意した。4月1日付でKCCは新たに根津鋼材の「関東事業部・青梅事業所」となる。現在の受託・賃加工形態をそのまま踏襲し「従来の事業を着実に移行」(根津社長)姿勢で、スタッフも現従業員がそのまま移籍する予定だ。

根津鋼材の「関東事業部・青梅事業所」に

豊通系「関東コイルセンター」の事業

KCCは大型スリット(いずれも3.2mまで)のほかにシャーリング3ペラーライン(板厚は台を有し、通常時の加工自動車向け比率が高

を占める。KCCは創業が1952年で、長く旧トーマン系列だったが、鉄鋼事業の豊田通商移管売の100%子会社。KCCは創業が1952年で、長く旧トーマン系列だったが、鉄鋼事業の豊田通商移管売の100%子会社。

今回の根津鋼材は豊通鉄鋼販売からのKCC事業譲渡を受け、KCCが保有する土地・建物、設備、人員を引き継ぐ。従業員は約20人が対象となりそうだ。4月1日の移管初

日から根津鋼材の独自システムを活用した円滑な業務の垂直立ち上げに向け、すでに両社間で調整を進めているとのこと。

豊田通商グループが持つ商社機能や知見によってこれまで運営してきたKCCに、根津鋼材の持つ「システムを駆使したCC経営ノウハウ」を融合させ、次世代型を見据えた「薄板サプライチェーンにおけるローコストオペレーション」の新たな機能・仕組みづくりを模索する中で、そのモデル拠点として「根津社長」としている。

鋼新聞社 2021